

「いばらきグローバル化推進計画」の概要

◆計画策定の趣旨

- 国内では少子高齢化が進む一方、世界的には人・資本の国境を越えたグローバルな動きがますます活発になり、東南アジアをはじめとする新興国の経済成長が著しいことから、本県のさらなる発展のためには、その活力を本県にも取り込こんでいくことが重要です。
- 一方で、国籍や文化の壁を越えた活動が盛んになることから、お互いの価値観を理解・尊重し合いながら行動することがますます重要となっています。
- こうした状況を踏まえつつ、グローバル化を推進することで本県の活力や住みやすさの向上を図るため、これまでの「国際化推進計画」を大幅に改め、県のグローバル化推進関連の取組を全体的に網羅する「いばらきグローバル化推進計画」を策定することとしました。

◆長期ビジョン（およそ20年後のいばらきの姿）と「いばらきグローバル化推進計画」との関係

【長期ビジョン】

- 国籍や民族、言語にとらわれず、お互いを尊重し合い、認め合いながら、安心して暮らせること。
- グローバルな視野を持って地域の課題を解決したり、グローバルな活動を通じていばらきの魅力を世界中に発信することのできる人材が多数いること。
- 様々な文化、習慣、考え方を有する人々を魅了する環境があること。

長期ビジョンの実現に向けた第1フェーズが「いばらきグローバル化推進計画」（計画期間：平成28年度～32年度 5年間）

◆「いばらきグローバル化推進計画」の基本方針及び取組

基本方針1

グローバル化にふさわしい人づくり

- ①身近な文化や環境等への理解促進
(自分たちが暮らす国や郷土の文化を理解し愛する心の醸成、自分たちのルーツにつながる文化への誇りの醸成、国籍や母語にかかわらず地域に愛着を持ち、安心して暮らせる環境の整備 等)
- ②課題を探究する力の養成や語学教育
(スーパーグローバルハイスクール指定及び国際バカロレア認定の促進、英語活用能力の向上、教員の英語指導力向上 等)
- ③多様な文化や考え方に対する理解促進
(外国人講師等の派遣、女性・若者リーダーの海外派遣、高校生の海外留学に対する支援、高校生が海外に渡航する機会の創出 等)
- ④交流の場の創出
(通訳・ホームステイボランティアの登録・紹介、オリンピック・パラリンピック大会の競技会場やキャンプ誘致、外国人アーティストとの交流促進、外国人技能実習生等との交流の機会の創出、スポーツ交流に対する支援 等)
- ⑤国際協力への参加促進
(青年海外協力隊等への参加促進、青年海外協力隊OB・OGの派遣 等)
- ⑥外国籍や日本語指導が必要な児童生徒への対応
(児童生徒教育関係者が一堂に会する場の設置、進路指導の充実 等)

基本方針2

グローバル化にふさわしい場づくり

- ① 安心して生活・活動できる環境の整備
(多言語による相談体制の充実、多言語による各種情報提供、外国出身者の経験・ネットワークの活用、やさしい日本語による対応の普及、外国語での受診・診療をスムーズにするための「メディカルハンドブック」の作成・配布、誰もが安心して受診できる医療環境の整備、英語による教育環境の充実 等)
- ② 地域の魅力向上と資源の有効活用
(グローバルに通用する地域資源や本県の強みを掘り起こし、磨きをかける取組の推進【②に係る地域別の取組】)
 - 県北・県央地区
豊かな自然や歴史・伝統、高度な産業集積、J-PARC等の科学技術の集積、ひたち海浜公園、弘道館・偕楽園等の施設の活用促進
 - 県南地区
つくばの科学技術や高度人材の集積についての情報発信、G7茨城・つくば科学技術大臣会合の開催や英語による教育・医療機関の充実等による魅力向上
 - 鹿行地区
カシマサッカースタジアムやメロン等の農産物を活用した魅力向上と新たな資源の掘り起し
 - 県西地区
結城紬といった伝統工芸やなしなどの農産物等を生かした魅力向上と新たな資源の掘り起し

基本方針3

人や企業のグローバルな交流の推進

- ①海外とのネットワークの拡大
(茨城・ベトナム交流推進官民協議会によるベトナムとの交流推進、上海事務所の活用促進、在ナミベトナム人等とのネットワーク強化、留学生・研修生のネットワーク強化、県内に在住する外国出身者の経験やネットワークの活用、友好提携州との経済交流の推進 等)
- ②様々な国や地域からの観光客の誘致
(多言語による観光情報の提供、Wi-Fi環境の整備促進、おもてなし講座の開催、LCC路線の充実、海外の旅行会社や国内のランドオペレーター等の開拓、農山漁村の地域資源を活かした観光客の受入 等)
- ③農林水産物等の輸出支援
(商談会参加や販売促進活動等への支援、バイヤーの招へい、ニーズに応じた輸出商品づくり、低コストな船便輸送を実現するための農産物の鮮度保持実証試験の実施、常陸牛海外販売推奨店の増加 等)
- ④企業の海外展開支援
(「いばらき海外進出サポート協議会」の運営、ジェトロ茨城貿易情報センター等との連携によるセミナー等の実施、輸出拡大支援員の配置による販売先の確保、上海事務所や常陽銀行シンガポール駐在職員によるサポート 等)
- ⑤対日投資の県内誘致
(本県の投資環境等の情報発信、MICE誘致等)
- ⑥様々な国や地域からの人材誘致の促進
(実習生等の人材誘致に向けた環境の充実、技能実習制度等の趣旨の周知徹底、インターンシップや企業説明会への海外からの留学生の参加促進、高度人材誘致のための環境整備 等)

県や県民、事業者等、国際交流・協力団体、NPO等の市民団体、市町村が連携しつつ、それぞれが期待される役割をはたすことで、「ひとやものが活発に交流する グローバルないばらき～お互いを理解し合い尊重し合う 多様性が創り出す新しい茨城～」を実現

○進捗状況の管理

計画の策定後も、毎年度、外部有識者等により計画の進捗状況を定期的に確認・検証する場を設けるとともに、必要に応じて計画の見直しを行います。